



太陽熱温水器模型キットを使い実験を行う児童

楽しい実験で太陽熱の大切さを学ぶ**■太陽熱はあったかい環境教室**

1月23日、川崎小学校の4年生77人を対象とした環境教室が行われました。

環境教室は、矢崎エナジーシステム株式会社の吉広孝行さんを講師に迎え、太陽熱を使って水を温める実験を行うなど、地球温暖化問題をみんなで考えました。

児童たちは、太陽熱温水器模型キットを使い、15分ごとの水温の変化を記録し発表。吉広さんは「教室を通じて太陽熱の大切さを学び、環境意識を高めてもらいたい」と話しました。

認知症の予防と対応策を学ぶ**■第3回まきのはら健康大学**

第3回まきのはら健康大学が1月28日、史料館で開催され、約170人が参加しました。

今回は「今こそ学ぼう！認知症～早期対応が決めて～」をテーマに、浜松医科大学副学長の宮嶋裕明教授が講演しました。

宮嶋教授は、認知症の症状や発症する一歩手前の状態（MCI）、その対応策など、資料や再現映像を使い丁寧に説明しました。

参加者は、わかりやすい説明に大きくうなづきながら、認知症の知識や対応策を学びました。



宮嶋教授の話を真剣に聞く参加者

お互いの防災力の向上を図る**■災害時相互援助に関する協定締結式**

岐阜県本巣市と牧之原市は1月12日、本巣市役所本庁舎で災害時に人的、物的援助を行う「災害時相互援助に関する協定」を結びました。

県外の自治体との締結は10市町目。牧之原市と東海地方の自治体との締結は初めてです。本巣市は津波の影響を受けない位置にあり、また人的なつながりやご縁もあって締結が実現しました。

藤原勉本巣市長は「牧之原市と本巣市がお互いに支援協力しながら、さまざまな形で友好を深めていきたい」と話しました。



協定を締結した藤原本巣市長（右）と西原市長

広報担当がどこにでも取材に行きます。

あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎052-632-0052 E-mail: seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp

**今年一年の躍進を誓う****■平成29年牧之原市新春初顔合わせ会**

新春初顔合わせ会が1月4日、マイハートうともで開かれ、市内の企業や団体の代表者、教育関係者ら約250人が出席しました。

会に先立ち、さまざまな分野で多年にわたり活躍され、市の発展に寄与された個人と団体に、表彰状や感謝状が贈られました。

西原市長は「市が活性化するためには皆さんの力が必要。皆さんと共に取り組んでいきたい」と年頭のあいさつをしました。

出席者は、静岡牧之原茶「望」で乾杯した後、スクリーンに流された川勝平太県知事や静岡牧之原茶親善大使の橋幸夫さんのビデオメッセージを見ながら、お茶と市内菓子店自慢の御菓子を味わい、新年のあいさつを交わすとともに、抱負を語り合いました。



大石吉彦地区長会長の音頭により静岡牧之原茶「望」で乾杯する出席者

お皿づくりにみんなで挑戦**■陶芸教室**

1月11日、萩間保育園で陶芸教室が行われ、5歳児17人がお皿づくりに挑戦しました。

この陶芸教室は、子どもたちの卒園の記念品となるよう、今回初めて企画されました。

陶芸家である長谷川研二さん（島田市）の指導の下、子どもたちは真剣な表情でお皿にそれぞれ好きな絵を描きました。

完成したお皿は、長谷川さんの窯で焼かれ、ピンクや青の釉薬で着色されたあと、約1ヶ月後に園児の元に届けられます。



真剣な表情で好きな絵をお皿に描く園児

**防災意識を常に持ち続けること****■平成29年牧之原市消防団出初式**

牧之原市消防団出初式が1月8日、相良中学校で行われ、団員約380人が参加しました。

式典では、多年にわたり勤めた団員や退職する団員の表彰などが行われました。

野ヶ本好剛団長の訓示では「災害が常に起こりうることを想定し、日ごろからの訓練を積み重ね、防災意識を常に持ち続けることをお願いしたい」と述べました。

なお、当日は天候が悪かったため、団員による操法披露は中止となりました。